

講義名	オ)グローバル経営基礎			
担当教員	今西 珠美			
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要				
<p>主題：企業の国際的な経営活動に焦点を当てる「グローバル経営」という学問分野の基礎知識と主要理論、研究領域について理解します。</p> <p>概要：前半（1～10回）は主にグローバル経営にかかわる基礎知識と主要理論を時代背景を踏まえながら捉え、後半（11～15回）はグローバル経営を実践する上で直面する諸相を知ることによってグローバル経営が内包する専門領域を捉えていきます。</p> <p>国際的に事業を展開する企業や組織のマネジメントの仕組みや経営行動について、経営理論に基づき自ら考え、理解できるようになるための基盤を作ります。将来、グローバルな視野に立って社会に貢献できる人材になるための力をつけます。</p>				

到達目標				
グローバル経営に関する基礎知識とその研究領域について広く理解できるようになりましょう。				
提出課題				
毎回課題を提出します。				

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
授業時や解答例を提示する際に講評します。メールで個別に対応することもあります。				
評価の基準				
<p>学習成果（理解度）を評価します。出欠はとらず、提出された課題レポートの内容や取り組み姿勢を評価します。</p> <p>提出課題（85%）、学習意欲など（15%）を予定しています。</p>				

履修にあたっての注意・助言他				
<p>教科書に沿って授業を進めます。教科書は必ず授業時に手元にあるようにしてください。</p> <p>課題にしっかりと取り組んでください。提出回数だけでなく、その内容が重要です。</p>				

教科書				
・『コア・テキスト 国際経営』	大木清弘	新世社	2,750円	978-4-88384-266-7

プリント資料及び参考文献				
<p>浅川和宏『グローバル経営入門』日本経済新聞社、2003年。</p> <p>井上真理編『グローバル・ビジネス』グローバル・ビジネス。新世社、2020年。</p> <p>江賢一・森名義典『理論とケースで学ぶ国際ビジネス（第4版）』同文館出版、2018年。</p> <p>中川功一・林正・多田和美・大木清弘『はじめての国際経営』有斐閣（有斐閣ストゥディア）、2015年。</p> <p>安室憲一監修、吉沢昌之・山口隆英編『安室憲一の国際ビジネス入門』日経書籍、2019年。</p> <p>吉原英樹『国際経営論（第4版）』有斐閣（有斐閣アルマ）、2015年。</p>				

授業計画				
1	国際経営の基礎知識			
2	多国籍企業の歴史			
3	海外直接投資論			
4	プロダクト・サイクル仮説と優位性の移転			
5	多国籍企業の組織デザイン			
6	トランスナショナル組織			
7	国際的な活動の配置と調整			
8	海外子会社論			
9	グローバル・イノベーション論			
10	国際パートナーシップ			
11	国際マーケティング			
12	国際生産			
13	国際研究開発			
14	国際的なサプライチェーン・マネジメント：調達と製販統合			
15	国際人的資源管理			

授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）			イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート			エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション			カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>授業の予習（約120分）</p> <p>教科書の該当章を読んで授業に臨んでください。事前に読む章の番号は授業回と同じです。</p> <p>【予習する教科書の章番号】＝【授業回】ということです。</p> <p>例えば、第3回に向けた予習では教科書の第3章を読んで授業に備えてください。</p> <p>授業の復習（約120分）</p> <p>授業でキーワードを提示しますので、各自の内容確認を入念に行ってください。</p> <p>さらに、それらの相互関連性を考えることによってその回の授業全体の理解を深めてください。</p> <p>参考文献の利用も推奨します。自ら進んで調べ、理解度を高めましょう。</p>				

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>国際的な経営の仕組みやグローバルに事業を展開する組織の行動について、経営理論に基づき、自ら考え、理解できるようになるための基盤を作ります。国際的なマネジメントに関わる専門基礎知識を習得し、それに基づいてグローバルな経営活動について状況分析を行い、課題や改善策を提案できるようになります。将来、国際的な舞台で活躍し、社会に貢献できるような人材になるための力をつけます。</p>				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
<p>ポータルのシステムを使って資料の提示、課題の提出や確認を行います。また、ポータルのレポート機能（例えば、課題提出時のコメント欄）やメールを活用してコミュニケーションを図っていききたいと思います。</p>				

実務経験の有無及び活用				
実務経験なし				

備考				